



夏休みも後半。  
もうすぐ2学期がスタートします。  
夏の疲れは出ていませんか？  
体調を整えてがんばりましょう。



### たのしい絵本と紙しばいの会

- ・ 8月17日(木) 午前10:30~
- ・ 9月7日(木) 午前10:30~
- ・ 小さなお子さまのためのおはなし会です。  
親子でご一緒にお越しください。
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室

### 高校生ボランティアのおはなし会

- ・ 9月2日(土) 午前10:30~
- ・ アンパンマンの紙しばいや楽しいおはなしがいっぱい。おはなしのあとには、たのしい工作教室があります。
- ・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ

### 婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 9月9日(土) 午後2:00~
- ・ おはなしじょうずなボランティアさんが、昔ばなしの絵本や紙しばいを読んでくれます。
- ・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ

### 読書会

- ・ 9月13日(水) 午後1:30~
- ・ テキスト「恋の手紙、愛の手紙」半藤一利/著  
和やかな雰囲気です。
- ・ 興味のある方はお気軽にどうぞ。
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室

#### 夏休み工作教室

#### 『牛乳パックでたのしいペンたて』

8月19日(土) 午前10:00~

場所 馬頭図書館 視聴覚室

講師 小川平吉先生

募集人数 20名(先着順)

参加費 無料

申し込み 馬頭図書館 ☎92-5015



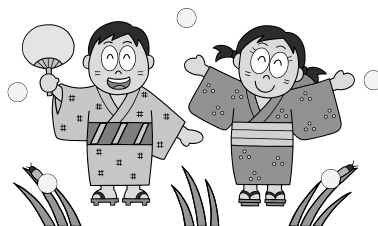
### 今月の表紙

小川第3保育園で

縁日っこ

7月21日、小川第3保育園で縁日っこが開催され、園児のにぎやかな声が園内に響きわたりました。ピンゴゲームやペットボトルボーリング、すいか割りなどのゲームを保護者が用意。ゲームを楽しんだ後、みんなですいかを食べました。

最後に、お礼の舞「よさこいソーラン」を保護者に披露しました。



### ★夏休み自由工作

- 8月21日(月)~25日(金)
- 児童館にあるリサイクル材料を使って楽しく工作しよう。何を作ってもOK! 材料の持ち込みOK! アイディアは自由です。

### ★なかよしひろば

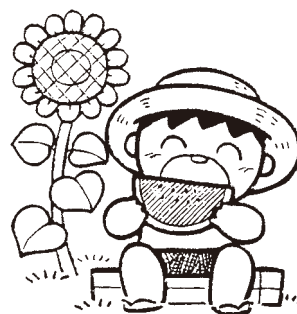
- 9月5日(火) 午前10:00~
- ぶどう狩りをしよう。
- 場所 星ぶどう園(現地集合)
- 申し込み 9月4日(月)まで
- 参加費 100円(入園料)

### ★映画会

- ・ 9月9日(土) 午前9:30~
- ・ 内容 「アイス・エイジ」
- みんなで見に来てね

### ★敬老の日のプレゼントづくり

- ・ 9月10日(日)
- 第1回午前9:30~ 第2回午後1:30~
- おじいちゃんおばあちゃんへ心をこめてプレゼントをつくりましょう。
- メガネ入れを作ります。
- ・ 申し込み 9月8日(金)まで
- ・ 材料費 100円



「児童館」  
8月16日~9月15日  
のお休み

開館時間 午前9時~午後5時  
☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
			8/16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	9/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	

# 那須のベストセラー『那須記』

夏休みも半分が過ぎました。小中学生は夏休みの宿題のひとつに読書感想文がありますが、今年はどうな本を読んでいるのでしょうか。

本は私たちにとって最も身近な娯楽のひとつであるとともに、様々なことを教えてくれます。それは今も昔も変わらなかつたようです。そこで今回は、江戸時代に那須の人々の間で広く読まれた『那須記』という本を紹介したいと思います。

『那須記』は延宝四年（一六七六）那須郡小口村（現在の那珂川町小口）の庄屋、大金重貞によって著されました。全十五巻からなり、那須一族の栄枯盛衰を中心に那須地方に関連する故事、縁起等について書かれています。もちろん郷土の英雄として有名な那須与一も登場し、誕生にまつわる伝説や屋島の戦での活躍、その最期について詳しく

く記されています。

那須地方の歴史を知る上で欠かすことのできない『那須記』は、当時の那須の領主たちによって書き写されたり、清書されたものが徳川光圀に献上され、水戸で写本が作られたりしたという記録が残っています。

さらに明治二十五年（一八九二）の那須陸軍大演習の際には、明治天皇の上覧に供するため、明に手を加え、活字となつて大金家より刊行されました。こうして、より多くの人々に読まれるようになりま

す。いわば那須のベストセラーとなつた『那須記』ですが、もうひとつ重要な役割を果たしました。

延宝四年四月、磐城の僧円順から湯津上村（現在の太田原市湯津上）にある古碑（那須国造碑）についての話を聞いた重貞は、現場に赴き碑文

の判読を試みます。そして執筆中であつた『那須記』巻二の末尾に、この経緯と碑文の内容を書き記しました。それから七年後の天和三年（一六八三）六月、徳川光圀が武茂郷（旧馬頭町）巡村の際に重貞は案内役を務め、光圀に『那須記』を献上します。

それを見た光圀も湯津上村で発見された古碑について、その価値を認め、侍塚古墳を含めた調査及び保護を重貞に命じます。こうしてここに、日本で初めてとされる考古学的な調査が行われたのです。

那須のベストセラーとなり、日本初の考古学的調査のきっかけともなつた『那須記』。ちよつと難しいですが、いつかこんな本に挑戦してみ

るのもいいかもしれません。

（なす風土記の丘資料館 学芸員 木村友美）



那須記（個人蔵）

## うぶごえ

（氏名）（父母の名）（住所）

市川	斗翔	輝幸	馬頭
菊地	心菜	和秋	馬頭
熊田	梨央	孝子	健武
佐藤	拓斗	勇介	小川
橋本	武士	秀一	小川
吉成	遼夏	裕一	小川
大野	翔太	雅美	三輪

平成18年6月21日

平成18年7月20日受付分

※掲載は希望者のみです。

（敬称略）

## おくやみ

（氏名）（年齢）（住所）

益子	國夫	馬頭
橋本	和子	馬頭
山口	勇之介	馬頭
高野	進	健武
伊吹	昭男	和見
佐藤	章二	小口
菊地	ふみ	大内
笹崎	功	大内
丸山	松男	小砂
田代	輝雄	小川
稲澤	チイ	小川
郡司	アヤ子	小川
木田	マツ	小川
豊田	嘉平	小川
阿久津	隆一	白久
杉本	一造	東戸田
田所	昇	三輪

## 8月1日現在の人口

（住民基本台帳）

男	10,098人	(-13)
女	10,129人	(-10)
計	20,227人	(-23)
世帯数	5,979	(±0)

( )内は前月との比較

